



平成29年8月16日付で企業長に就任しました仲榮眞弘実と申します。
この度、企業長という要職を仰せつかりまして大変光栄に思います。
これからの任期中で企業団の為に私の力を注ぎ、職務にあたってまいります。
今後とも関係各位のご協力とご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

水道事業は、町民生活を支えるライフラインの担い手として、安全な水を安定して供給する使命を担っています。この重責を果たしていくためには、経営資源が減少する厳しい状況下にあっても、水質の管理徹底や水道施設等の適切で効率的な維持管理に努め、老朽化した管路を計画的に更新し、耐震化として確実に高まる施設更新需要に的確に対応するとともに、事故・漏水などの多様な災害に対処できる危機管理対応力強化への取り組みも引き続き進めていきます。

給料問題につきましては、南風原、八重瀬両町民及び需要者の皆様並びに関係機関の皆様にも多大なご迷惑をお掛けしています。この場をお借りして、心から深くお詫び申し上げます。

これまで、企業団の理事であられる南風原町長、八重瀬町長の指示のもと、アドバイザー会議会長（南風原町副町長）、副会長（前八重瀬町副町長）、委員（両町総務課長）におかれましては、給料問題が新聞報道される以前から、当企業団を構成する地方公共団体としての立場から諸問題の調査審議に長期間取り組んで頂き、問題の解決に向けての方向性を示す提言書をまとめていただきました。

しかしながら、給料問題はまだ解決に至っていないことから、引続き理事、アドバイザー会議のご指導、ご支援を得ながら早期解決に向けて取り組んでいく所存であります。

職員に対しては、今回の給料問題を重く受け止め、企業団全職員の問題と自覚させるとともに、町民の信頼回復を得るためにも丁寧な経過説明と情報提供を図ってまいります。

現在の状況としましては、アドバイザー会議からの追加提言書を基に、給料の再訂正に向けて労働組合との交渉及び職員への個別説明を行っております。

今後は、アドバイザー会議からの提言書を重視し、労働組合との給料の再検証を行い、第三者の目線も踏まえながら関係職員に丁寧に説明した上で、給料問題の早期解決に努めてまいります。

平成29年度は、こうした課題と向き合いながら、前任の赤嶺企業長が目標に掲げた事項を着実に実行するとともに、職員が明るく働きやすい職場環境をつくり上げ、職員と協働で課題解決に取り組み、水道サービスの持続性をより確かなものにして行きたいと考えております。

平成29年11月1日

南部水道企業団 企業長 仲榮眞 弘実